

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

剰余金配当基準日 3月31日(期末配当)
9月30日(中間配当)

定時株主総会 毎年6月(基準日:3月31日)

公告の方法 電子公告の方法により行います。
公告掲載URL
<http://www.nisshinbo.co.jp/>

※事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11
TEL 0120-232-711(通話料無料)

株式に関するお手続き

【証券会社で口座を開設されている株主様】
当該証券会社にご連絡ください。

【証券会社で口座を開設されていない株主様】
三菱UFJ信託銀行(特別口座管理機関)にご連絡ください。
TEL 0120-244-479(通話料無料:24時間受付)
インターネット <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株主優待のご案内

当社の株主優待制度は、社会貢献活動への寄付または日清紡グループの紙製品ギフトセットのどちらかをお選びいただける内容となっております。

今年度の社会貢献活動への寄付につきましては、東日本大震災の被災地復興支援のため、日本赤十字社の「東日本大震災義援金」を寄付先といたしました。

詳細は、ご優待対象の株主様へ同封いたしました株主優待申込みはがきをご覧ください。

○株主優待の内容

次のいずれか1つを選択いただけます。

1 株主様からのお申込み分1件あたり3,000円を当社が取りまとめ、日本赤十字社「東日本大震災義援金」へ寄付

2 家庭紙製品ギフトセット(3,000円相当)
※日清紡グループの日清紡ペーパー プロダクツ(株)製品です。



○ご優待対象の株主様

2014年3月31日現在で、1,000株以上保有する国内在住の個人株主の方。

○ご優待のお申込み方法

ご優待対象の株主様には、株主優待申込みはがきを同封しておりますので、必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。なお、お申込みの締切りは2014年7月31日となっておりますので、ご注意ください。

NISSHINBO

第171期 株主通信

2013年4月1日～2014年3月31日



日清紡ホールディングス株式会社

〒103-8650 東京都中央区日本橋人形町2-31-11

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



日清紡ホールディングス株式会社

証券コード 3105



代表取締役社長
かわた まさや
河田 正也

Contents

株主の皆様へ p-1
 当期の連結業績について p-2
 日清紡グループの事業概況 p-3
 連結財務諸表の概要 p-5
 特集(日清紡グループの事業構造強化への取り組み) p-7
 トピックス p-9
 会社・株式概要 p-10
 株主メモ・株主優待のご案内 巻末

「環境・エネルギーカンパニー」として
企業価値の向上に邁進します。

株主の皆様には、日頃より日清紡グループへの格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日清紡グループは、人間社会最大の課題である地球環境問題にソリューションを提供する「環境・エネルギーカンパニー」として、「無線・エレクトロニクス」、「車載・機器」、「生活・素材」、「新エネルギー・スマート社会」に関わる分野を戦略的的事业領域と位置づけ、2017年度までに売上高6,000億円超、営業利益400億円超、ROE 9%超を達成することを戦略目標に掲げています。

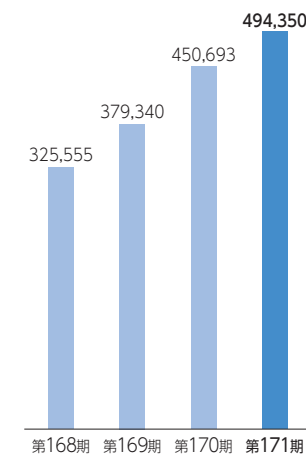
そのロードマップとして、2013年4月には、新経営3カ年計画「NEXT 2015」をスタートさせ、「エレクトロニクス事業の改革と成長」、「ブレーキ事業の強化」、「繊維・紙製品・精密機器・化学品事業の収益体質強化」に取り組んでいます。

「企業公器」、「至誠一貫」、「未来共創」の企業理念を経営の根幹に据えて、数値業績面の量的成長と組織風土の質的向上をバランスよく推進していきますので、引き続き、日清紡グループへの一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

売上高

494,350百万円

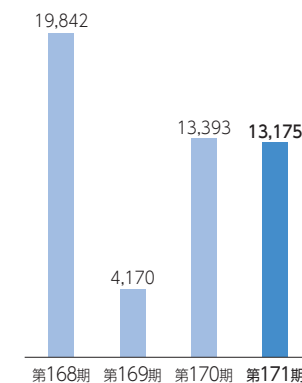
(前期比9.7%増)



営業利益

13,175百万円

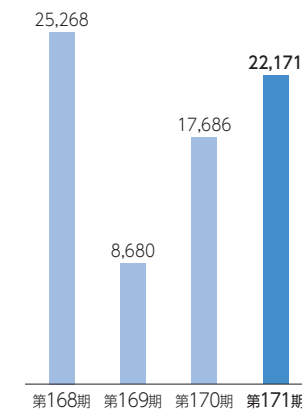
(前期比1.6%減)



経常利益

22,171百万円

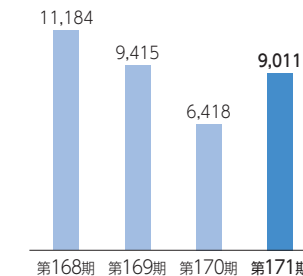
(前期比25.4%増)



当期純利益

9,011百万円

(前期比40.4%増)



(単位:百万円)

当期における日清紡グループの売上高は、ブレーキ事業が海外子会社の好調に加え円安に伴う海外売上高の円換算額増の影響を受けたほか、エレクトロニクス事業もソリューション事業、半導体事業が好調だったことなどにより、増収となりました。

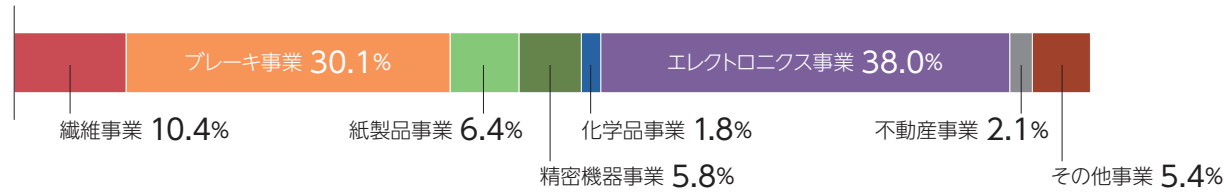
営業利益は、不動産事業の減少があったものの、TMD FRICTION GROUP S.A. (TMD社) の業績回復やその他海外子会社の好調によるブレーキ事業の大幅な業績改善、エレクトロニクス事業の日本

無線(株)の増益などにより、若干の減益にとどまりました。

経常利益は、為替差益の増加や持分法による投資利益の増加などにより、増益となりました。また、当期純利益は、特別損失に日本無線(株)他の事業構造改善費用4,541百万円等を計上したものの、子会社の繰延税金資産の計上による法人税等の減少などもあり、増益となりました。

日清紡グループの事業概況

●事業別売上比率



繊維事業

シャツ、テキスタイル、デニムなど



インドネシアやブラジルの海外子会社が好調だったものの、円安により海外生産拠点からの仕入コストが上昇した影響などにより、増収ながらも減益となりました。

ブレーキ事業

摩擦材、アセンブリ製品など



米国・アジアの海外子会社の売上増やTMD社の業績回復などから増収となり、TMD社買収に伴うのれんの償却費5,978百万円等の負担により営業損失を計上したものの、順調に改善が進んでいます。

紙製品事業

家庭紙、洋紙、紙加工品など



シャワートイレ用トイレトペーパーの拡販やファインペーパーのパッケージ用紙の販売増があったものの、円安による原料コスト高などにより、増収ながらも減益となりました。

精密機器事業

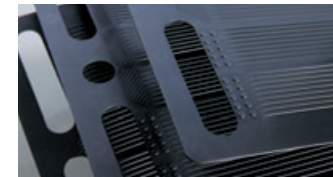
太陽電池製造装置、精密部品、プラスチック成形品など



太陽光発電システム設置事業や各種産業向け専用機の販売が堅調に推移し、プラスチック成形加工や自動車向け精密部品も好調だったため増収となり、黒字化しました。

化学品事業

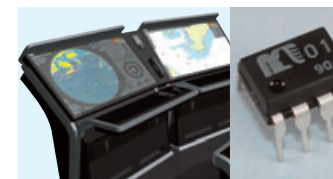
ウレタン・カーボン製品、機能化学品、燃料電池セパレータなど



断熱製品、機能化学品、燃料電池セパレータが売上を伸ばしたものの、販管費の増加や円安による原料費増などのコストアップにより、増収ながらも減益となりました。

エレクトロニクス事業

情報通信機器、半導体製品、電源・エネルギー機器など



成長戦略の遂行とグローバルレベルでのコスト削減を柱とした事業構造改革を推進中ですが、日本無線(株)の防災行政無線システム等の売上増や新日本無線(株)の半導体事業の好調などにより、増収・増益となりました。

不動産事業

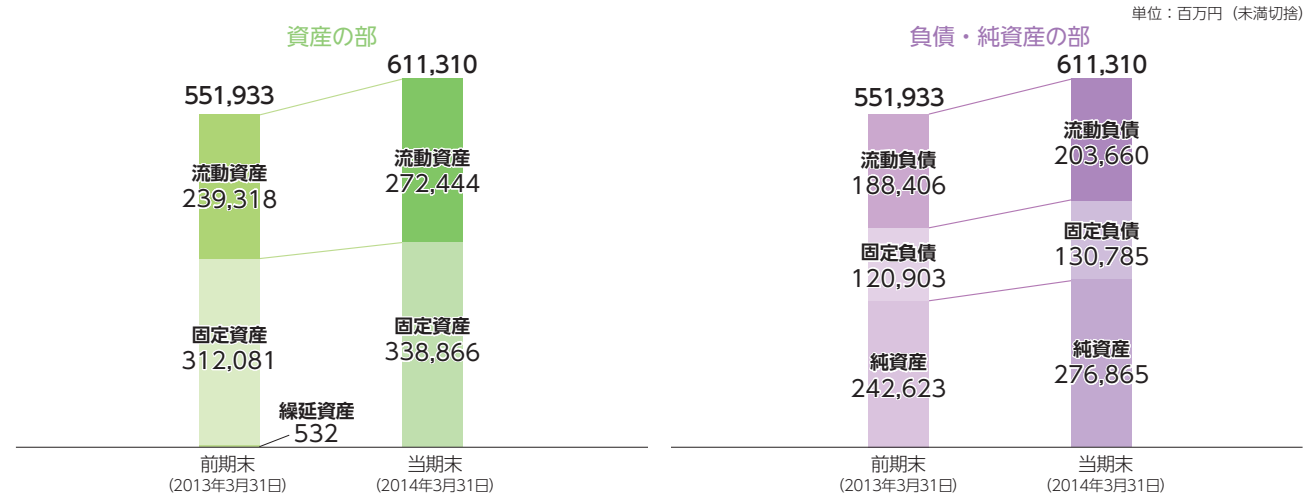
宅地分譲、土地・建物賃貸など



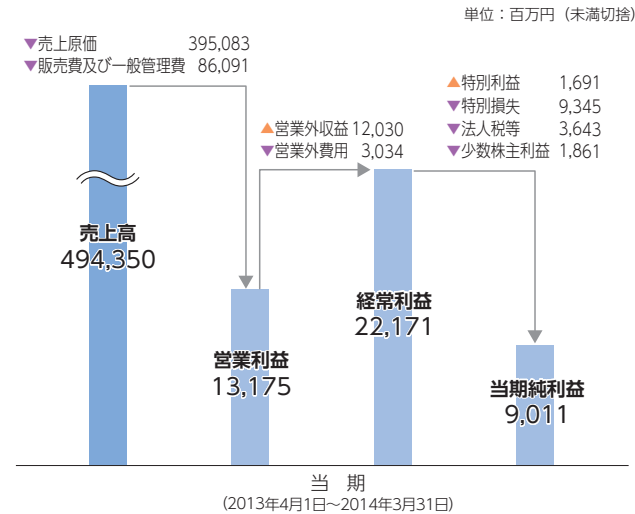
宅地分譲事業や土地・建物賃貸は順調に推移したものの、名古屋事業所跡地の大型分譲益5,541百万円を計上した前期との比較では、減収・減益となりました。

連結財務諸表の概要

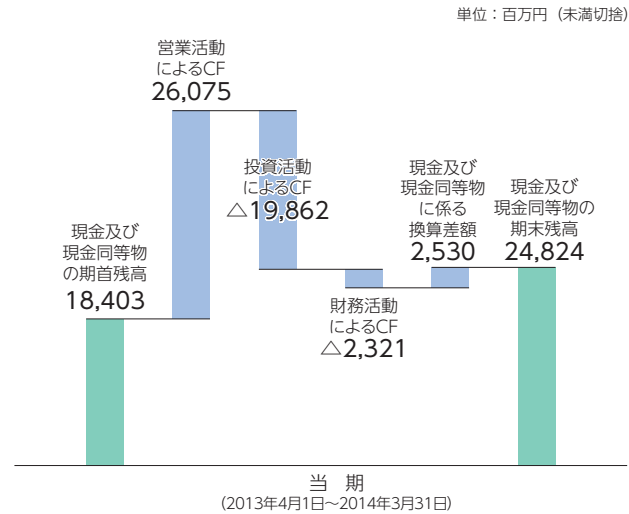
● 連結貸借対照表の概要



● 連結損益計算書の概要



● 連結キャッシュ・フロー計算書の概要



● 連結貸借対照表の要旨

単位：百万円（未満切捨）

科目	前期末 (2013年3月31日)	当期末 (2014年3月31日)
資産の部		
流動資産	239,318	272,444
固定資産	312,081	338,866
有形固定資産	165,552	174,246
無形固定資産	44,762	46,146
投資その他の資産	101,767	118,473
繰延資産	532	-
資産合計	551,933	611,310

● 連結損益計算書の要旨

単位：百万円（未満切捨）

科目	前期 (2012年4月1日から2013年3月31日まで)	当期 (2013年4月1日から2014年3月31日まで)
売上高	450,693	494,350
売上原価	359,463	395,083
売上総利益	91,229	99,266
販売費及び一般管理費	77,836	86,091
営業利益	13,393	13,175
営業外収益	8,002	12,030
営業外費用	3,709	3,034
経常利益	17,686	22,171
特別利益	2,966	1,691
特別損失	3,767	9,345
税金等調整前当期純利益	16,885	14,517
法人税等	6,290	3,643
少数株主損益調整前当期純利益	10,595	10,873
少数株主利益	4,177	1,861
当期純利益	6,418	9,011

● 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

単位：百万円（未満切捨）

科目	前期 (2012年4月1日から2013年3月31日まで)	当期 (2013年4月1日から2014年3月31日まで)
負債の部		
流動負債	188,406	203,660
固定負債	120,903	130,785
負債合計	309,309	334,445
純資産の部		
株主資本	188,410	194,785
その他の包括利益累計額	20,964	44,445
新株予約権	282	264
少数株主持分	32,966	37,369
純資産合計	242,623	276,865
負債及び純資産合計	551,933	611,310

科目	前期 (2012年4月1日から2013年3月31日まで)	当期 (2013年4月1日から2014年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,095	26,075
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,973	△19,862
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,072	△2,321
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,662	2,530
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	710	6,421
現金及び現金同等物の期首残高	16,904	18,403
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	788	-
現金及び現金同等物の期末残高	18,403	24,824

● 期末配当について

当期の期末配当金については下記のとおり決定いたしました。

1. 期末配当金 1株につき金7円50銭
2. 期末配当の効力発生日ならびに支払開始日 2014年6月6日(金)

日清紡グループは、経営3ヵ年計画「NEXT 2015」に基づき様々な施策を進めていますが、その中でも収益力改善とグローバル競争力強化に向けた主な取り組みについてご紹介します。

エレクトロニクス事業

現在、生産・技術拠点の再構築に向けて、日本無線(株)の先端技術センターおよび生産工場を長野県に建設しています。先端技術センター(2014年11月竣工予定)には、技術開発力の強化を目的として、日本無線(株)と長野日本無線(株)の技術者1,000人を配置し、生産工場(2015年3月竣工予定)では、防災行政無線などの製品を生産します。これにより、生産・技術面での連携を深め、シナジー効果を発揮させます。

また、日本無線(株)は、2013年12月、海洋開発支援船など高付加価値ワークボート市場向け機器の販売・サービスとシステムインテグレーションに強みを持っているオランダのアルファトロン マリン ベヘールを子会社化しました。これにより海洋資源開発の進展により活況を呈している海洋開発向け船舶用の電子機器のシェア拡大を図るとともに、船舶の安全運航支援サービス事業の拡大を図ります。



先端技術センター(完成予想図)



アルファトロン マリン ベヘール

ブレーキ事業

中国新拠点である日清紡賽龍(常熟)汽車部件有限公司は、2013年より量産品の出荷を開始し、現在、本格的に稼働しています。

タイにおいては、日清紡ソブーンオートモーティブの第二工場が2014年3月に生産を開始し、2013年7月に設立した日清紡コマースシャルビークルブレーキでは、2014年末に中・大型トラック用ブレーキアセンブリの生産を開始する予定です。

TMD社では、TMDブラジルのサンパウロ工場を移転し、さらに拡張することを決定しました。これにより品質と生産性をさらに向上させ収益力の強化を図り、現在の売上を2020年には倍増させる計画です。

繊維事業

繊維事業では、インドネシアに紡績・織布・加工・縫製の一貫した生産体制を整えました。次世代形態安定加工「アポロコット」の欧米への輸出拡大を目指し、生産性および生産能力を高めるとともに、年内には欧米への販路を確立します。

国内では、研究開発拠点を徳島県に集約し、樹脂加工技術とデニム加工技術とのシナジーを發揮させ、新商品開発力の強化を図ります。



日清紡ソブーンオートモーティブ第二工場



日清紡インドネシア

●中国に自動車部品の合併会社設立

2013年11月、当社はドイツのコンティネンタル※との間で、電子制御ブレーキシステム(EBS)の主要部品であるバルブブロックの製造・販売のための合併会社を中国に設立することに合意しました。

かねてから日清紡グループではバルブブロックの製造を手掛けており、日本と中国(上海)の両

拠点からコンティネンタルへ高品質な部品を安定的に供給し、高い評価を受けてきました。現在中国は世界最大の自動車市場へと成長し、今後もさらに拡大が見込まれています。今般の合併会社設立により、中国自動車市場の需要増を取り込むことで日清紡・コンティネンタル両グループのさらなる成長を図っていきます。

※Continental AGを中心とする世界最大手の自動車部品製造グループ



バルブブロック

会社概要	社名	Nisshinbo-Continental Precision Machining (Yangzhou) Co., Ltd. 日清紡大陸精密機械(揚州)有限公司
	所在地	中国・江蘇省揚州市
	事業内容	バルブブロックの製造・販売
	資本金	2億円
	出資比率	日清紡ホールディングス(株) 70% Continental Automotive Holding Co., Ltd. 30% (コンティネンタルの中国子会社)
事業開始予定	2015年	

「ドッグシアター」新CM放送開始

2014年4月より、日清紡グループのCM『ドッグシアター』の新シリーズの放送が開始されました。

犬と人間の「二人羽織」がコミカルな『ドッグシアター』シリーズの第3弾となる今回は、好評いただいているCMソングが流れるバージョンもあり、一層注目を集める仕上がりとなっています。

このCMを通じて、日清紡グループが「環境・エネルギーカンパニー」として「今、必要な会社」であることを引き続きアピールしていきます。



●会社概要(2014年3月31日)

商号	日清紡ホールディングス株式会社 Nisshinbo Holdings Inc.
設立	1907(明治40)年2月5日
資本金	27,587,976,204円
従業員	230名(単体) 22,052名(連結)
本社	〒103-8650 東京都中央区日本橋人形町2-31-11

●主なグループ会社(2014年3月31日)

グループ会社	135社(国内46社、海外89社)
・連結子会社	102社
・非連結子会社	15社(うち持分法適用会社2社)
・関連会社	18社(うち持分法適用会社9社)

繊維事業

日清紡テキスタイル(株)、CHOYA(株)、ブラジル日清紡、ニカワテキスタイルインダストリー、日清紡インドネシア

ブレーキ事業

日清紡ブレーキ(株)、TMD FRICTION GROUP S.A.、日清紡オートモーティブマニファクチャリング、日清紡ソンプーンオートモーティブ、セロン・オートモーティブコーポレーション

紙製品事業

日清紡ペーパープロダクツ(株)、日清紡ポスタルケミカル(株)、東海製紙工業(株)、大和紙工(株)

精密機器事業

日清紡メカトロニクス(株)、日清紡精機広島(株)、日清紡メカトロニクス(上海)、日清紡メカトロニクス(タイランド)

化学品事業

日清紡ケミカル(株)、(株)日新環境調査センター

エレクトロニクス事業

日本無線(株)、新日本無線(株)、長野日本無線(株)、上田日本無線(株)

●役員(2014年6月27日現在)

取締役

取締役会長*1	鵜澤 静也
取締役社長*1	河田 正洋
取締役常務執行役員	村上 雅洋
取締役執行役員	土田 隆平
取締役執行役員	萩原 伸幸
取締役執行役員	西原 孝治
取締役執行役員	木島 利裕
取締役執行役員	奥川 隆祥
取締役執行役員	馬場 一訓
取締役*2	秋山 智史
取締役*2	松田 昇典
取締役*2	清水 啓典

*1は代表取締役 *2は社外取締役

監査役

常勤監査役	井出 義男
常勤監査役	藤原 洋一
監査役*	川上 洋彦
監査役*	富田 俊彦

*は社外監査役

●株式状況(2014年3月31日)

発行可能株式総数	371,755,000株
発行済株式総数	178,798,939株
株主数	12,353名

●所有者別株式分布状況(2014年3月31日)

